

## 「ジャポニスム2018」続報 1

本号ではパリ 8 区にあるサロモン・ロスチャイルド館で現在開催されている「深みへ」展への中根一幸外務副大臣の視察と各国大使特別招待会、およびケ・ブランリー美術館で開催されているピエール・スーラージュ作「大相撲幕内優勝賜杯(壺)」特別展示会について報告いたします。

また、No.5 でお知らせした「ジャポニスム2018」オープニング事業への来場者数や最新の展覧会入場者数と、2018 年秋季の弊館事業予定を報告させていただきます。

### 目次

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1. 「深みへ」展を中根外務副大臣が視察          | 2 |
| 2. 「深みへ」展を各国大使が視察             | 3 |
| 3. スーラージュ作「大相撲幕内優勝賜杯(壺)」特別展示会 | 4 |
| 4. 気になる数字 1—オープニング関連事業概要      | 5 |
| 5. 気になる数字 2—各展覧会入場者数(中間速報値)   | 5 |
| 6. 予告: 2018 年秋季のパリ日本文化会館事業    | 6 |

## ① 「深みへ」展を中根外務副大臣が視察

7月26日午後、公務でパリをご訪問中の中根一幸外務副大臣が、36度の炎暑のなか、ラ・ヴィレットで開催中の「チームラボ：境界のない世界」展とルーヴルのピラミッド内に展示されている名和晃平の彫刻作品「Throne(玉座)」を視察の後、午後5時25分から6時10分までロスチャイルド館で行われている「深みへ」展を見学された。

中根副大臣は「ジャポニスム 2018：響きあう魂」全体のコンセプトを示す同展を興味深くご覧になった。初めに入り口正面に置かれた「響きあう魂」を象徴する宮田亮平の作品「銅鑼」を一回鳴らしたのち、時間をかけて会場を視察された。特に最後に訪れたダンサー森山未来と人工知能ロボットのコミュニケーションを表したジュスティーン・エマールの映像作品に長時間見入られてから会場を後にされた。

2



(左) 宮田亮平作「銅鑼」を鳴らす中根外務副大臣 (右) 名和晃平作品「泡」を鑑賞する中根副大臣と木寺駐仏大使



ジュスティーン・エマールの映像作品を鑑賞する中根外務副大臣

## ② 「深みへ」展を各国大使が視察

7月20日午前11時から12時40分頃まで、木寺駐仏日本大使の呼び掛けにより、ロストチャイルド館で開催中の「深みへ」展の特別招待会が開催された。参加者はタイ、インドネシア、フィリピン、ラオスなどのアジア諸国大使ご夫妻やスイス、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国大使ご夫妻のほか、在仏日本商工会議所会頭、同事務局長、邦銀支店長各ご夫妻など、約20名ほどであった。同展キュレーターの長谷川祐子さんがたっぷりと時間をかけて丁寧に解説したので、参加者一同満足した様子であった。

3



大巻伸嗣の作品「無限のこだま」を鑑賞する招待客たち



リー・ウーファンの部屋で解説を聞く招待客たち



### ③ スーラージュ作「大相撲幕内優勝賜杯（壺）」特別展示会

2000年にシラク仏大統領(当時)の求めに応じ、日本最良で滞日経験もある画家のピエール・スーラージュ(Pierre Soulages)が大相撲幕内優勝者に対してフランス共和国大統領が授与する賜杯(壺)を制作した。まさに日仏友好を象徴する芸術作品である。壺の外側は白と黒の線状の帯によるグラデーション模様で、内部には400グラムにもものぼる大量の金が装着され、正面に開けられた円形の窓から黄金の光を放つ様子は、海から昇る太陽を想起させる。

この賜杯(壺)は同じものが4点制作され<sup>1</sup>、内1点は仏大統領府エリゼ宮に保管されている。それが7月3日から8月31日までの期間、弊館と同じセーヌ河岸沿いにあるケ・ブランリー・ジャック・シラク美術館で特別に展示されている。この企画は「ジャポニスム2018」の参加企画に指定されており、7月20日(金)にごく少人数を対象とした内覧会が行われた。

ピエール・スーラージュは井上有一などとも交流があり、お互いに影響しあった芸術家同志であったので、当初、弊館で開催する「井上有一」展のオープニングに併せ弊館地上階の展示スペースで、スーラージュ関連の多くの資料とともに陳列しようとしたのであるが、諸事情により弊館での実施は実現しなかった。

その代わりにケ・ブランリー美術館での開催となったのである。本内覧会にはステファヌ・マルタン同美術館館長の案内により、木寺駐仏日本大使をはじめ、本展実現のために尽力したクレマンソーとモネの関係などの研究で知られる美術史家マチユ・セゲラ氏などが参加した。

なお、ケ・ブランリー美術館では、本年4月10日より7月15日まで日本や中国、タイなどアジア諸国の幽霊を展示した「アジアの地獄と幽霊展」が開催され、また本年晩秋からは「日本の竹細工」展が開催される予定など、このところ日本関連の展覧会が続くことになっている。



ケ・ブランリー美術館マルタン館長(右端)の案内でスーラージュ作「大相撲幕内優勝賜杯(壺)」(左写真)を鑑賞する木寺駐仏日本大使(中央)。作品を解説するのは美術史家セゲラ氏(左端)

<sup>1</sup> 4点は大相撲協会、エリゼ宮、セーヴル美術館、作家本人により各1点ずつ所蔵されているとのこと。

注記: 本稿で意見に相当する部分は筆者の個人的見解を述べたもので、筆者の所属する組織の統一の見解ではありません。本稿に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰するものとします。

#### ④ ジャポニスム 2018: 気になる数字 1—オープニング関連事業概要

##### 1. 来場者数

- |     |              |                                |
|-----|--------------|--------------------------------|
| (1) | 開会式:         | 347 人                          |
| (2) | VISION 上映会:  | 371 人                          |
| (3) | THRONE 内覧会:  | 200 人                          |
| (4) | 深みへ展内覧会:     | 450 人                          |
| (5) | 井上有一展:       | のべ 466 人                       |
|     | イ プレス内覧会:    | 101 人                          |
|     | ロ 内覧会:       | 148 人                          |
|     | ハ 大臣視察:      | 20 人 (概数)                      |
|     | ニ 講演会:       | 123 人                          |
|     | ホ カクテル:      | 74 人 (概数)                      |
| (6) | DRUM TAO 公演: | 1259 人 (チケット販売数+招待受付数は 1416 枚) |

##### 2. フランス内広報件数 (7/12~16)

- |     |      |   |
|-----|------|---|
| (1) | 通信社: | 3 件 (AFP)   |
| (2) | 新聞:  | 5 件 (地方紙)   |
| (3) | 雑誌:  | 2 件 (美術誌)   |
| (4) | ウェブ: | 31 件  |
| (5) | テレビ: | 4 件 (CNews, BFM, AFP-TV (以上仏), La Première (スイス)) |
| (6) | ラジオ: | 1 件 (RTL)   |
|     | 計:   | 46 件  |

この他にも開幕直前に、ル・モンド紙 (7/5 付)、ア・ヌ・パリ誌 (週刊フリーペーパー、7/9 付)、等で、特集記事の掲載があった。

#### ⑤ ジャポニスム 2018: 気になる数字 2—展覧会入場者数 (中間速報値)

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| ● 「teamLab」展 (ラ・ヴィレット) | 126,088 名 (5/14~7/22)      |
| ● 「池田亮司」展 (ポンピドゥーセンター) | 28,000 名 (6/15~7/23)       |
| ● 「子供の時代展」(パレドトーキョー)   | 3,924 名 (6/22~7/3) (以後調査中) |
| ● 「深みへ」展 (ロスチャイルド館)    | 3,656 名 (7/13~7/25)        |
| ● 「井上有一」展 (パリ日本文化会館)   | 1,611 名 (7/13~7/24)        |

⑥ 予告: 2018年秋季のパリ日本文化会館事業 (2018年9月~12月)

7/14 - 9/15

展示「井上有一 1916-1985 書の解放」

9/15

講演会「Landscape Theatre」

～【工芸シリーズ TEWAZA】～

9/18 - 9/22

展示「TEWAZA」

9/21

ワークショップー東京染小紋

9/22

レクチャー・デモンストレーションー備前焼

9/22

レクチャー・デモンストレーションー織物と染色

9/25

講演会「クローデルの『繻子の靴』」(渡邊守章)

9/28

クラブイベントーTokyo Hit vol.3 feat. 石野卓球

～【禅文化週間】～

10/2 - 10/6

展示「禅の世界」

10/4 - 10/6

ワークショップー写禅語

10/4 - 10/6

ワークショップー座禅会

10/4

コンサートー辻仁成

10/9 - 10

ドキュメンタリー『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』特別上映会

10/13

子供/家族向けイベントー日本の食と文化を学ぶシリーズ: お好み焼きワークショップ

10/16, 17

講演会ー縄文展オープニング記念講演会

10/17 - 12/8

展示「縄文展」

7

～【「地方の魅力」週間ー祭りと文化】～

10/17 - 10/18

デモンストレーションー兵庫県 淡路人形浄瑠璃

10/18

レクチャー・デモンストレーションー市川市 神輿の組立・解体デモンストレーション

10/18 - 10/27

展示ー鳥取県・岩手県 まんが王国とっとり&いわてマンガプロジェクト

10/19

デモンストレーションー岩手県 民族芸能公演

10/19

講演会ー徳島県 あわ文化講演会

10/19

ワークショップー徳島県 藍染ワークショップ

10/19

ワークショップー岩手県 民俗芸能ワークショップ

10/23 - 10/24

子供/家族向けイベントー鳥取県 切り絵・紙すき体験ワークショップ

10/23

デモンストレーション/講演会ー奈良県・奈良市 春日若宮おん祭

10/24

デモンストレーションー木曾町 木曾節・木曾踊り

10/25 - 26

子供/家族向けイベントー新潟市 鯛車ワークショップ

10/25 - 26

子供/家族向けイベントー新潟市 凧作りワークショップ

10/26 - 10/27

デモンストレーションー岐阜県 地歌舞伎

10/27

子供/家族向けイベントー新潟市 マンガつけペン体験講座

～【パリ東京文化タンデム】～

10月末 - 11月初

展示「Furoshiki Paris」

11/2 - 11/3

デモンストレーションーからくり人形実演

11/2, 11/10, 11/17, 11/24

ワークショップーFuroshiki Paris

11/7

水曜コンサートー大原保人

11/20

講演会「今に生きる前衛的古典一詩人大使ポール・クローデルの『百扇帖』をめぐる」(芳賀徹)

11/21 - 11/24

演劇ー藤田貴大: 書を捨てよ町へ出よう

11/21 - 12/21

映画ー日本映画再発見(4K クラシック傑作選) / 日本映画の100年

11/22

講演会「「ジャポニスム; 北斎とセザンヌ」ーアンドレ・マルローの日本論と共に」(田中英道)

12/5

子供/家族向けイベントー子ども茶の湯

12/5 - 12/6

コンサートー小曾根真 featuring No Name Horses

12/6

食文化イベントー京菓子レクチャーワークショップ

12/7, 8

シンポジウムーグローバル・プレイヤーとしての日仏協力: 日仏協力の現実と未来

12/15

講演会ー日本茶講演会